

美唄市男女共同参画推進協議会会報

デュオ
Duo



デュオとはイタリア語で「二重唱」「二重奏」を意味します。

発行：美唄市男女共同参画推進協議会事務局

講演会「韓国の家族の絆は本当に強い？」に参加して

昨年の10月31日、美唄市とDuoの会共催の講演会に参加しました。旭川大学准教授の朴姫淑^{パクヒスク}氏を講師にお迎えし「韓国の家族の絆」をテーマにお話ししていただきました。以下は講演の中で、朴先生がされていたお話しの一部です。



朴姫淑氏▶

『私たちは家族の中で生まれ、成長し、何らかの形で家族を作ります。家族形態や家族の機能、家族構成員の関係は、時代的・地域的に共通性と差異があります。ドラマなどを通して皆さんが抱いている韓国の家族のイメージには、事実ももちろんありますが、幻想もあります。しかし、それでも韓国ドラマに魅了される方が多くいる一因として、日本では忘れられてしまった「家族の絆」を韓国の家族に求める方が多くいるためではないでしょうか？今日は韓国の家族を通して日本の家族について考えてみて下さいね』

さて、朴先生のこのお話しを聞き、以前韓国を旅行した際、現地のガイドさんが「この国の人間は祖先や目上の人をととても大切にします。だから、家族との繋がりも、たいへん強いんですよ。」と話していたことをふと思い出しました。

韓国の家族のイメージに対し「幻想もあります」という朴先生と「家族との繋がりはいへん強い」というガイドさん。果たして真相やいかに・・・と思いつつ興味深くお話しを聞きました。

-

韓国ドラマでは、3世代でわいわい暮らしているさまをよく見かけますが、実際は都市化が進み、親などと同居している人はそれほど多くはなく、子育て等も親に頼めなくなっているそうです。しかし、その一方で「親を大切にし、援助するのは当たり前」と考える人が、日本よりも圧倒的に多い韓国では、子どもの多くが親に対し経済的な援助を行っているのだそうです。この話だけを聞くと「なんて親孝行なのだろう！」とってしまいますが、日本に比べ、年金制度が未成熟な韓国では、退職後の親の面倒を子どもが必然的に見なくてははいけないという現状もあるようです。しかも、若者の失業率が9%と比較的高いため、経済的負担は重く、その暮らしは私たち日本人が考えているよりも大変そうです・・・。



(裏面へつづく→)

朴姫淑… 旭川大学保健福祉学部保健看護学科准教授
 平成19年12月 旭川大学保健福祉学部助教認定
 平成20年 9月 東京大学大学院人文社会系研究科社会文化研究専攻社会学専門分野博士課程単位取得退学
 平成21年 9月 社会学博士(東京大学大学院)

『育児も介護も家族だけでは対応しきれない時代になってきているのは、日本も韓国も



同じこと。家族の絆を強いものにするためには、社会制度のあり方などについても考えなければいけません。』と朴先生は話されていました。

「家族の絆」が「強い」のか「弱い」のか、はたまた「ほどほど」なのかは、日本でも韓国でも「何を基準にして考えるか」によって随分変わってくるのではないのでしょうか。いずれにしても答えは人それぞれでしょう。

この他にも、美容整形のお話し（美男美女の方が就職で有利なのだそうです）など、韓国ならではの楽しいお話しをたくさん聞かせていただき、国による考え方の違いや、自国の良さなどについて、改めて考える良い機会になりました。（近藤肇子）

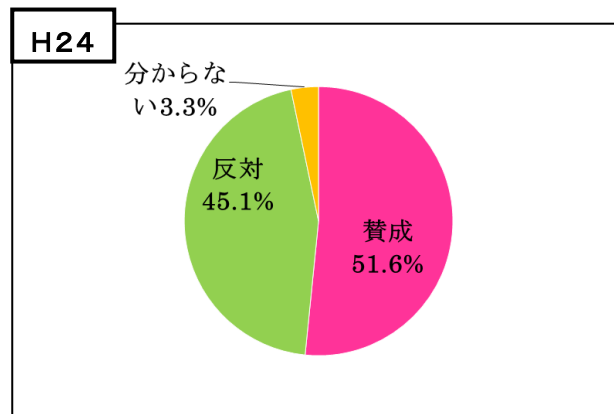
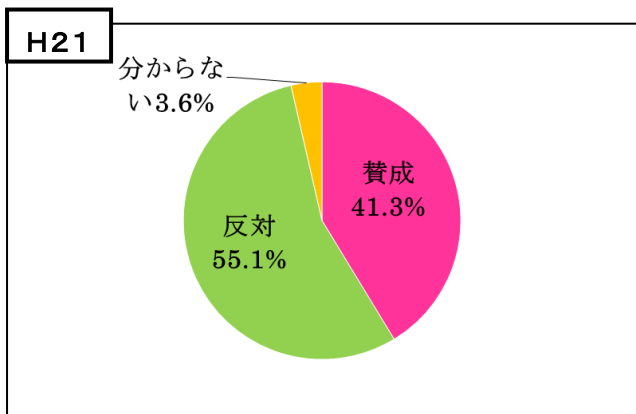
震災の影響？「妻は家庭を守るべきだ」賛成 51.6%に

上記タイトルにある数値は、昨年12月15日に内閣府が発表した「男女共同参画社会に関する世論調査」でのものです。「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきだ」との考えに「賛成だ」という意見は、平成4年に60.1%を記録して以来、毎回減少していましたが、今回初めて増加しました。

平成21年時の前回調査では、賛成と答えた人が41.3%だったので、今回の調査では、実に10.3ポイントも増えたこととなります。賛成と答えた人を性別分けして見ても、女性は48.4%で11.1ポイント増、男性は55.1%で9.2ポイント増と、前回調査より、男女ともに増加しています。また、賛成と答えた人は各年代いずれも増加していますが、中でも20代が19.3ポイントの大幅増となりました。

この結果に対し、内閣府では「東日本大震災後の家族の絆をより重視する傾向の表れとみられる」と分析していますが、皆さんは、この結果についてどう考えますか？

夫は外で働き、妻は家庭を守るべきだ



Duoの会設立10周年に向けた 記念対談を行いました

Duoの会は平成15年の設立から間もなく10周年を迎えます。そこでDuoの会の根賀松子会長、北海道警察初の女性署長・長船祐子美唄署長、今年の3月で閉校となる西美唄小学校の太田智子校長の3人で、昨年の11月に記念対談を行い、1個人の女性としての考えやご自身のエピソードなどについて自由にお話ししていただきました。



「私が警察に入った35年前は『女が上司になるなら死んだほうがマシだ』という感覚を持った先輩や上司がたくさんいましたよ」（長船美唄署長）



（市議会議員を務めていた当時）
「『女だてらに何ができるんだ』という目線は絶対にありましたね」

（Duoの会根賀会長）



「同じような仕事をして、男性の2～3倍頑張らないと、実績として認められないような感じはずっとしていましたね」

（太田西美唄小学校長）

この記念対談の様子は、今春発行予定の「美唄市男女共同参画推進協議会設立10周年記念誌Duo（仮）」に掲載します。

DV・デートDVに悩む方のための相談窓口

市や道では、配偶者や交際相手からの暴力等に悩む方からの相談をお受けしています。配偶者の方については「配偶者からの暴力の防止および被害者の保護に関する法律」により、専門の相談や必要に応じて一時保護、配偶者の接近禁止などの申立制度などが定められています。配偶者暴力やデートDVでお悩みの方は、下記までご相談ください。



●美唄市役所企画課 ☎0126-63-0113（平日8時45分～17時15分）

●配偶者暴力相談支援センター（空知総合振興局内）☎0126-25-5648（平日9時～17時）

「デュオの会」屋外活動

昨年(2011年)の8月5日に開催された「びばい歌舞裸 2012」において会報 18 号を来場者の方に配布し、PR活動を行いました。



活動風景



当日はあいにくの空模様でしたが、多くの方がお祭りを楽しんでいましたよ。これからもDuoの会の存在や活動について皆さんに知っていただくために、さまざまな取り組みを行っていきます。

Duoの唄

このコーナーでは、主に会員から寄せられた、男女共同参画に関するさまざまな思いを綴った唄を掲載しています。特に決まった形式ではなく、身近な生活の中で感じたことや疑問に思っていることなどを、川柳のような短い言葉で表現したものです。

会員以外の方からの唄も大歓迎ですので、自身で作った句を、ぜひ会報に載せてみませんか？興味のある方はぜひ事務局まで。

ママ夜勤
パパのおにぎり
大きいな
ペンネーム
Y子

夫をば「主人」と言えば
たちまちには妻は「家来」に
なり下がるなり
ペンネーム
M・Y

編集後記

東日本大震災から、間もなく2年を迎えます。震災の6日後に『未熟児』として誕生した私の姪っ子。「これが本当に人なの!？」とってしまうぐらい小さな小さな身体で生まれてきましたが、家中を走り回り、テレビのキャラクターに合わせて元気よく踊っている現在の姿を見ると、「ずいぶん成長したなあ」としみりしてしまいます。時の経つのが早いんですねえ…「日々大切に生きなさい」と言われているようです。(M・K)

「美唄市男女共同参画推進協議会(通称Duoの会)」会員募集中!

新規会員を募集しています。男女共同参画社会づくりに向けて学習し、家庭や職場・地域で身近に取り組める実践を目的としています。興味のある方は、ぜひご連絡ください。

◆問合せ・入会申込など◆

事務局(美唄市役所企画課内)

TEL 0126-63-0113へ